

所管課	生涯学習部ふるさと文化課					
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策			
	第3章 元気創造都市	07 市民文化	03 歴史文化遺産を保存・活用する			
事業：歴史遺産活用事業			整理番号 1191			
目的	市内の文化財を活用した事業を実施することにより、市民のふるさとに対する関心と愛着を育み、文化財保護の重要性を啓発する。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財特別公開の実施 ・ふるさと歴史学習館の運営と展示や講演会等の実施 ・河内長野市指定文化財旧三日市交番の修理と活用 ・滝畑ふるさと文化財の森センターの運営・展示・講演会等の実施 					
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	79,132	総コスト(千円) 138,053 事業費 79,132 人件費 22,139 公債費 36,782 一人あたり(円) 1,223 世帯あたり(円) 2,928	総合評価 B 評価理由 当初の計画どおり事業を進めることができた。	妥当性	A
	一般財源	35,128			効率性	A
	国府支出金	17,669			有効性	B
	地方債	0				
	その他特定財源	26,335				
貢献度	施策に対する事業貢献度	A	根拠	歴史文化遺産を活用した事業を積極的に実施し、市の魅力について情報発信ができた。		
今後の方向性	今後、市内の文化財を悉皆的に把握するとともに相互の関連を整理し、本市独自の魅力をPRできるようにする。					

事業優先順位	3	細事業：滝畑ふるさと文化財の森センター活用事業			整理番号	02	
目的	文化財修理資材の育成、修理技術者の養成、文化財保護の啓発を行うことにより文化財の総合的な保存推進を図る。また、普及啓発施設としての滝畑ふるさと文化財の森センターの活用を図るとともに、体験学習及び野外活動の場としての活用を図る。						
目標	①岩湧山茅場の保全活用のための茅刈り・山焼きの実施 ②(公益社団法人)全国社寺等屋根工事技術保存会や滝畑地区と連携して、講習・講演会・体験活動等の実施						
事業実施主体	一部委託	事業開始年度	平成24年度	根拠法令	河内長野市立滝畑ふるさと文化財の森センター条例		
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	財源内訳	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	平成24年度	比較
			総コスト(千円)			47,213	
			事業費			34,622	
			人件費			9,284	
			公債費			3,307	
			一人あたり(円)			418	
			世帯あたり(円)			1,001	
			職員数(人)			1.17	
再任用職員数(人)		0.00					
今後の方向性	山焼きの4月実施について検討を行う。平成25年度についても平成24年度と同様に事業を実施する。						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	一般市民・文化財修理技術研修者		
	A	A	B				

事業：歴史遺産活用事業

市内にある歴史遺産を活用した事業を行った。

細事業：滝畑ふるさと文化財の森センター活用事業

国宝や重要文化財などの文化財建造物を後世に伝えていくために文化財の保存修理に地産地消の考え方を取り入れ、植物性屋根葺材の確保と資材に関する技能者の養成、また、その意義を普及啓発することを目的として、下記の事業を実施した。

1. 檜皮採取者養成研修

(公社) 全国社寺等屋根工事技術保存会との共催により、檜皮葺屋根の資材確保と檜皮採取者の後継者養成を目的に、檜皮採取者養成研修及び檜皮採取林の育成事業を河内長野市滝畑の千石谷市有林において実施した。

- 第1回 平成24年8月27日～9月7日 参加者9名
- 第2回 平成24年9月10日～9月21日 参加者5名
- 第3回 平成24年9月24日～10月5日 参加者5名
- 第4回 平成24年10月9日～10月19日 参加者5名

2. 文化財修復資材育成(茅刈り体験)事業

岩湧山茅場において、茅刈り作業を実際に体験することで、茅場の維持管理をすることの意義や茅刈りの伝統を後世に伝えることの重要性、自然との共存などを理解してもらうとともに、茅刈りの支援者の育成を目指すため、茅刈り体験事業を実施した。

- 第1回 日時 3月3日(日) 午前9時～午後4時 参加者 31名
- 第2回 日時 3月10日(日) 午前9時～午後4時 参加者 29名

3. 茅刈り・山焼き事業

植物性屋根葺材の確保のため、滝畑地区に委託し、岩湧山茅場の茅刈り作業を平成25年3月に実施した。

(刈取り束数 1,000束)

また、翌年の茅場育成のための山焼き準備作業を実施した。

4. 滝畑ふるさと文化財の森センター運営管理

①資料館 入館者数 6,213人

②研修宿泊施設管理運營業務

統合前の旧青少年活動センターの施設の特性を活かしながら、利用促進に努め、幅広い人々の利用拡大を図り、施設の活性化に努めた。

利用者内訳	市内		市外		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
こども会	10	403	4	70	14	473
小・中学校	31	726	10	351	41	1077
高校・大学	7	68	16	770	23	838
幼稚園・保育所	13	336	15	765	28	1101
青少年育成団体	41	1764	10	319	51	2083
その他	66	2284	35	1172	101	3456
合計	168	5581	90	3447	258	9028